

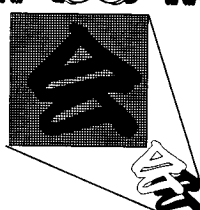
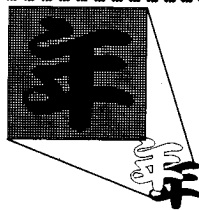
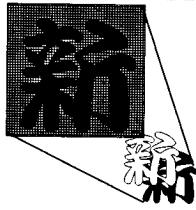
京都マイコン研究会

第 79 号

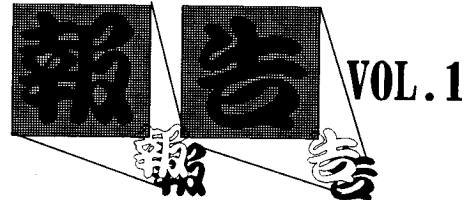
(通算96号)

1994年2月1日 発行

発行人 圓 口 佳 昭



1994. 1. 22 - 23 開催



主催 京都マイコン研究会

参加者・若林,小寺,圓口,中西(秀),溝口,中西(洋),若井,岩井,河原,鍵田,神賀,中辻,増田,松田

● 交流新年会進行状況 ⇨ 「行事内容」 or 「実施・進行内容」

1月22日(土)

O P E N

10:30 喫茶に集合

11:00 出発 (各自が我先に出発、会長置き去り)

12:00 食事(坂本 つるき蕎麦)(置き去りの会長を待ち、いつもの蕎麦を)

13:30 買い物(夜食その他)(何時もの平和堂で何時もの買い物)

14:30 蓬萊山の家 到着

各自手際よく会場の設定と持参のニューマシンの設置を済ませ電源onすると同時にジャンとあちらこちらで音やミュージックが奏でる、CD-ROMを搭載したマシンである。会場をグルリと見ればノートまでもがWINDOWS搭載マシン全てで占められていた。

15:00 各種講座開催

会長新年あいさつ

講座その1、ソフト MS-EXCEL/win 講師(溝口知男)

「エクセル」のマクロの実施体験例と活用の裏技を披露された。

講座その2、言語 MS-Visual Basic/J win 講師(増田則雄)

Visual Basic の流れ図と構造化、画面作成道具(プロパティ)によるフォームのコーディングの仕方について。全員が、簡単にプログラミング時間の早さに興味をもって聞き入り、タイムリミットを越えて進行した。

18:00 入浴

19:00 新年会 (食事)

やっど、静かになる?それもそのはず...メニューはカニすきである。しかし、ひととおりのらげたら、なにやらワイワイ・ガヤガヤ始まった鍋物の後に出る中西秀シェフの雑炊三昧である。今回は、各鍋の味くらべになり審査員は、新参の松田君が評価することになりました。批評はなぜか、シェフの鍋を除き厳しいお言葉を承り、皆様肝に命じたまことになごやかなテーブルマナーでした。かな...??

21:00 徹夜 夜間講座開催

各マシンについて持ち主の説明・新年会参加会員の紹介・個別討論会・ソフト座談会・CD-ROM講座・など各自各様で延々と進行Visual Basic講座に至っては日時が変わって3:30まで最終5:00で8:00起床という変わり者もこれぞ正に、究極の徹夜夜間講座になりにけり。ハハハ...

1月23日(日)

8:00 記念撮影 食事 (さすが~若い人は、一番最後に起床する。)

9:00 (フリーテーマ) 講座開催

今年の新年会に参加して参加者が感じた今後の自分達の環境や意見を発言して頂きました。

- 中西(洋) オアシス of Windows のインストールに苦慮した。
- 中 辻 98AS 希望
- 神 賀 DOS/V , カラーNOTEをなんとか彼女を説得して願望を満たしたい。
- 圓 口 去年買った 98NOTE(486) でWindowsをこなし、旧タイプのマシンの活用も。
- 岩 井 マシンの高機能化と低価格化の驚き。次回合宿の誘い。
- 溝 口 DOS/V互換機を大晦日に購入我が家と彼女をほっちらかして一人遊びをしていた。
Windows専用マシンにして仕事に活用するため購入。
- 増 田 PC98AF / 互換機との相違が見られ新規購入機種判断に役に立った点、CPUが
486DX66MHとペンテアム60MHでもビデオカードにより通常使用するには同等の性能が
発揮されることを認識。
会の運営方法の提案。
- 中西(秀) 386NOTEからPC98Bシリーズは買い替え。HP100LXも購入これをDOS/CGAにして、
これに没入している。日本語化して利用する。
- 若 井 Windows へ入門?
- 若 林 世の中のスピードは早すぎる。
- 小 寺 Windowsのマシンがそろそろ必要かな。
- 松 田 DOSレベルを確立してからWindowsへ移りたい。
- 河 原 Visual Basicのプログラミングの理解が深まったものと思う。パーソナルUSEと
Local Net USEのOSが2分されるであろう。

圓口会長提案

遊休マシンの貸与による次世代への支援策
会の運営と会名称の改組を考慮。

11:00 解散 蓬萊山の家 出発

新年会を終えて

会長 圓 口 佳 昭

激変の時代と新年のあいさつをしましたが、そのとおりの状況が新年会で繰り広げられ、飛び入りのHPのハンドコンピュータで1.2.3が動いているのにはビックリ、日本語対応の情報をパソコン通信で手に入れているとの中西秀さんの話にはゆっくり派にとって驚きでした。

急ぐ気持ちはあっても我慢すれば使いやすいパソコンを安く手に入れられるのでは、CD-ROM、ミュージックボード、グラフィックアクセラレーター、ビデオボード、スキャナー、を内臓のデスクトップが供給され買い足さずにそのままウィンドウを使いデータ作成から活用研究まで出来るものになるのではとも思っています。

NTは企業向けのOSであり個人活用はウィンドウで十分。もう一度、DOS上のソフトでやるべきか。新しい部会でウィンドウにとりこむべきか、会長として悩み多き新年になってしまいました。

**CD-ROM装置と光磁気装置の
違いは何か?**

(Tomoppy)

Windowsの普及と共に、CD-ROM装置も使われ始め、価格も2倍速の装置が5万円代で買えるようになった。CD-ROM盤の大きさは直径12cmの樹脂板で一枚の媒体記憶容量は約600Mバイトに及ぶ読みだし専用のファイルで、大容量のFDD装置である。

一方、光磁気装置は、直径5インチと3.5インチ(約8cm)の樹脂板で、現在はパソコン用に3.5インチが多く買われている。一枚の媒体記憶容量は約125Mバイトで、読み書きの両方ができる樹脂媒体のファイルである。この光磁気装置は、ハードまたはソフトの操作によってFDD装置のように取り扱えるし、HDD装置にも使える装置である。但し、自由に切り替えるとDISKの管理が大変だ。

光磁気装置を今から購入されるのであれば、HDD装置の価格が相当下がったので、バックアップ用にはHDD装置のほうが、使い勝手が良いと思う。ビデオレンタルの様に、早くCD-ROM盤のレンタルの店が出来ないかな。また、傷が付いたCD-ROM盤の修復が可能だろうか。日経MIXに次の様なコメントが出ていた。

cdrom/main 4106番, cvil から, 723
文字,
Sat Jan 15 23:20:55 1994
これは 4105 へのコメントです。

---レーベル面(樹脂)-----
---アルミの反射膜面(下のプラスチックの凸凹に被っている)
---プラスチックの凸凹面側(情報の本体であるピット形状)
.....(プラスチックの厚い部分).....

(こちら側から、レーザーを当てて、ディスクを読む)

ディスクを横から拡大鏡でみると、レーベル側から樹脂が流れた跡がわかる。分厚いケーキ(プラスチック)の上側に穴がつくってあって(情報)、クリームをかける(まずアルミで穴をメッキ、その上を樹脂で平にする)で、その上に絵をかく。(レーベル印刷)結局、CDは両面ともに、キズや汚れは厳禁ということ。

cvil

**MS-Windowsの魅力は?
(その1)**

(Tomoppy)

マウスとアイコン、ウィンドウを使ったグラフィカルな画面である。それだけなら、特に魅力は無いが、なっと言っても複数以上の目的や機能が異なったアプリケーションが動き、コピーやペーストが簡単にマウスの操作で他のアプリケーションへ行えることだ。このような操作は、「一太郎」でも画面を2または4分割にして行えたが、分割画面が固定しており、その上、他のアプリケーションと同一画面に表示が出来なかった。「Vzエディター」でも2分割のみであった。また、メニューなどのマウスもキータッチでマウスでダブルクリックするのみで画面操作が簡単に出来ることである。更に、文章作成には、自分好みの書体や大きさを選べるので、プレゼンテーションを目的とした書類作成には最適な環境である。DOSの時のような16ドットの文字を基準にした書体と違って素晴らしい文章が出来る。この環境に惚れ込んで約1.5年を経過した。一方、表計算も同様に、項目には明朝体、数字のセルにはゴシック体を選べる。

今回は、CGや絵画の話題を提供する。

PCVAN/98CLUBからの転載 (Tomoppy)

**新型PC98B-MATEシリーズ
は、256色ソフトが動かない。**

#293/315 ハードウェア
★タイトル(DLE86698) 93/12/4
15:51 (61)
RES#130>BMATEの256色モード
ろでます

★内容
お待たせしました(^_^)>がくりんさん
なかなか本職が忙しくて、こちらに手を
付けるのが、遅くなってしまいました、
申し訳ありませんでした。私、文章書く
のが遅いもんですから.....(^_^)
さて、ご質問は、「B-MATEでは
MATE用の256色対応のソフトは動
かないのか?」ということによろしいで
すね?

結論から言いますと「その通りです」
となります。(^_^)
では、なぜ動かないのかともうします
と.....

BMATEは、簡単に言いますと、FELLOW2(BA2、BS2、BX2)に、ウィンドウアクセラレータチップ(GD5428)を載せただけの機械です。従いまして、ハードの基本構造は、従来型の98とほとんどかわりません。違うのは、VRAM(画面に表示するものを展開するメモリ)とCPUの間のバス(命令やデータの通り道)が従来の16ビット(16本)から32ビット(32本)のローカルバス(CPUと同じクロック周波数で動作するバス。従来

は8MHzで固定)に変えられたくらいでしょう。

ところが、BMATEやMATE2、MULTIには、従来とは違った画面モードがあります。これが256色モードです。

FELLOWは、MS-DOSの過去から現在に至るソフトウェア資産を継承していくだけのハードです。今後のWINDOWSでの利用などは2の次で製品企画がされており、そのため、BMATEやMULTIにはついていない256色モードはついていないのです。

これは、「基本機能に徹することで様々な付加価値機能を取りさり、その結果、価格を下げる」のが目標のFELLOWには、あたりまえのことなんです。

そして、BMATE(Bp、Bs、Be)は、このFELLOWがベースになって開発されています。そのため、BMATEには256色モードがないのです。

では、なぜBMATEをNECが開発したのか。(以後は私の所見です)BMATEの開発目的は、「企業向けに、DOS/V機に対抗できる低価格なWINDOWSマシンをつくる」ことです。

あくまでもWINDOWSを動かす、しかも日本のOFFICEで使われることが前提のマシンです。すると、MATEからなにをカットする事によってコストダウンを図るかが見えてきます。まず、音源。これはOFFICE運用には不要です。次にMATE固有の256色モード。WINが前提であれば、WINでの多色表示はウィンドウアクセラレータにまかせられます。

こうやって、「贅肉」を落としていったら、FELLOW2にウィンドウアクセラレータを載せたものができあがった、というわけではないかと読んでいます。おわかりいただけただけでしょうか。

BMATEは安価なので、我々個人ユーザーにとっても魅力的に映ります。ですが、これのできることは少ないですよ、といたいのです。個人で買われるのでも、会社のマシンと同じ使い方しかないというのであれば、十分魅力的でしょう。しかし、ゲームをやりたい、WINでいろいろと遊んでみたい、これからはマルチメディアだ!、という人たちにはお勧めできません。そういう方々はMATE2をお求めいただくか、他機種(TOWNS、X68000系、DOS/V機)にいていただくしかないでしょう。(^_^)

私としては、MATE2を買っていただきたいですが。(^_^)

DLE86698 ろでます

form PCVAN/98CLUB (Tomoppy)

エプソン IBM/PC互換機発売情報
日電のマシンも価格が引下がったし、PC98互換機路線は放棄するのでしょうか。エプソ

ン・ファンはとっても不安でしょうね。
(Tomoppy)

#604/619 ハードウェア

★タイトル (KDE29295) 94/ 1/12 19:11
(8)

EPSON から IBM 互換機 ダガヤ

★内容

DELL が 98 互換機の取扱いを始めたか
と思いきや、今度は 98 互換機を作っていた
EPSON から IBM 互換機 が発表されました。
MS-Windows を含め約 10万円と少々
高めですが、富士通よりは安い気がします。

EPSON は 98 互換機を今後も続けていく
のか、ちょっと心配です。

ダガヤ

#605/619 ハードウェア

★タイトル (UXE86182) 94/ 1/12 19:41
(8)

エプソンの IBM互換機 TAK
AO

★内容

エプソンは5年くらいまでは確か
EQUITYという IBM-PC互換機をヒット
させて一時は全米シェアの10%くらいま
で行っていたと思います。しかしその後台
湾製など低価格機との競争でシェアを落と
し、少し前に社内の IBM-PC互換機開
発部門を解散したということが雑誌に出
ていました。現在ではカードタイプの一体型
IBM互換モジュールの開発のみ行っている
そうです。

私の想像では、エプソンは社内に関係部
門を持たなくなったため、逆に適当なOEM
品を買って直販の実験を始めたという感じ
がします。

#606/619 ハードウェア

★タイトル (98CLLB03) 94/ 1/12 22:55
(36)

エプソンDOS/V路線 /かおちゃん

★内容

まだ、市場調査的試験販売って感じですが
(^^;)
もはや、エプソン98互換機路線に終焉が
近づいたのは間違いないのではないでしょ
うか?

FELLOW/MATEの低価格化でエプ
ソン98互換機の価格的魅力はすでに無
くなったと思います。残るは性能による差別
化しか手の打ちようがないのですが、NE
Cが採用していない仕様を先に採用しては
互換機はかなさ、周辺機器メーカーは相
手にしてくれず自社製品のみが使えるだけ
の独自仕様になってしまう現状です。私は
今のPC-486系にこれという魅力を
まったく感じませんものね。もし、どちら
かを買えと云われたら迷わず、内蔵時計の
狂うFELLOWやMATEの方を選択す

るね(笑)

少なくともデスクトップからは2、3年
後には撤退してしまうだろうと予想してま
す。ノート系はまだ、頑張れる余地があ
るかな?!。否、DOS/V機の売れ行
きが好調なら一気に98互換機から撤退も
あり得ると思いますネ(^^;)

遅かれ早かれ、DOS/V路線に転向は必
死ではないでしょうか?。逆に一年以上販
売するのが遅すぎたと思います。DOS/
V人気が沸騰していた、MATEが投入さ
れる以前に参入しておくべきだったと思
います。今更、98ユーザーからDOS/V
へ移行するユーザーの数は限られています。
DOS/Vに移行したいユーザーはとくに
転向しちゃってます。残るシェアは私のよ
うな98以外のマシンとして余裕が許せば
将来、一台欲しいなって考えてるユーザー
層でしょう(^^;)。こういうユーザーが魅
力を感じるDOS/V機を提供出来るかど
うか。DOS/Vとなるとメーカーブラン
ドなんてどうでもいいように思うし、好き
勝手に組み合わせられる台湾製ノーブラン
ドの方が魅力的に見えるものね。

一時、ウワサになっていた98&DOS/
V両用機の登場はあり得ないでしょう。
価格が高くなるだけでそれを求める需要は
少ないだろうと想えますから。98+DO
S/Vの両刀使いの方ががはるかに賢明
な選択だからです。

/かおちゃん

#607/619 ハードウェア

★タイトル (VYA03391) 94/ 1/12 23: 4
(7)

EPSON DIRECT...98衰退への序章か? IRUKA

★内容

Windowsアプリケーションが大勢
を占めるようになってしまったらもはや9
8とATの小さな差異はどうでもよくなり
ます。要はどちらが安い、あるいは、同
じ価格でどちらが高性能かという問題に
なります。EPSONの選択は正しいのかも
しれません。海外生産を考えるならば部
品調達はATのほうが圧倒的に揃ってしまう
からです。え、私は4スロットマザーのマ
シンには手をだす気はありませんので今
回の製品にはまったく興味はありません
が・・・(8スロットは最低条件!)

IRUKA

#609/619 ハードウェア

★タイトル (RBE96235) 94/ 1/14 0:17
(77)

エプソン DOS/Vパソコン 発売(9
8離れ?) 本座

★内容

セイコーエプソンは1月11日、低価格の
「IBM互換パソコンを国内で販売する」
と発表した。販売とアフターサービスの新
会社を設立、代理店を経由しない「直接販
売方式」によって新規ユーザーを開拓す

る。エプソンはNEC「PC98」の互換機
を生産する唯一のパソコンメーカー。
海外では自社開発のIBM互換機を投入して
いるが、オープン化の流れの中で、国内でも
98互換機に加えIBM互換機も必要だとし
て、本格参入する。

日経MIXの京都アクセス・ポイント開設

from 日経MIX/system.news (Tomoppy)

system.news/main 1049番, sysmgr から, 327
文字, Wed Jan 12 18:22:55 1994

アクセスポイントについて

1994年2月1日から、横浜、京都、福岡
の3都市にMIXのアクセスポイントを開設
します。

どうぞご利用下さい。接続手順は大阪、名古屋
などの既設のアクセスポイントと同様で
す。system.newsのworkfileに説明がございま
すので、ご参照下さい(show workで見ること
ができます)。

日経MIX編成

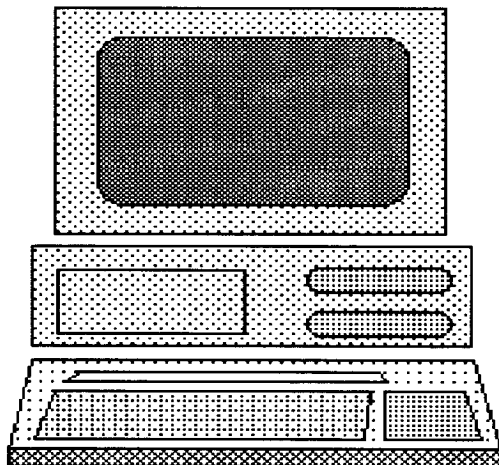
格調の高い(?) 商業NETです。お勧めし
ます。(Tomoppy)

MS-Windowsのメンテは、 慎重に頻繁にしましょう。

(Tomoppy)

APを動かしている途中で画面の動作が停
止して、マシンをリセットしたときは多分、ス
ワップファイルが壊れている可能性がある。次に再
立ち上げたときに、APの画面動きやDISK
の読む速度が低下したり、メモリ不足のエ
ラーが出るときは、直ちに「CHKDSK n: /
f」で実行してDISKのゴミ(FATチェーンが壊れて
いてHD容量が見掛け上、容量が小さくなるた
めである。スワップファイルが入らなくなる。)を除
くと正常な速さに画面転換速度が速くなる。

DOSの様にAPを使用後、直ぐに電気をOFF
にしても障害が無かったが、MS-Windowsを
終わるときは、DOS+ドになっても数分
後、待つてから電気を切るようにしないと、
先のような現象が出るので、要注意である。



プロフィール

No. 4

こ 寺 毅
てら たかし
小 寺 毅

私がマイコンに興味をもったのは、子供の頃からの趣味だった

鉄道模型の電車を、マイコン自動運転ができるということを書いた本をみつけた時からです。それは、1枚の基板だけのワンボードマイコンと呼ばれていたものでこれを、日本橋の電気屋へ見に行ったところキッドで自分で基板に部品をハンダ付けして組立てる作るTK-80というものでした。これまでにこのようなものを作った事がなかったので少し不安だったのですが、面白そうなのでボーナスで購入し正月休みに2日かかって組立て電源を入れて完全に作動したときは、感動したものでした。

しかし、完成はしたものの何もする事ができず、何もわからないままプログラム集を入力ミスとたたかいながら入力して楽しんでいましたが、のちにTK-BSが発売されてどうにかBASICらしきものが使えるようになりましたが当時白黒テレビとカセットレコー

ダというシステムでした。すぐにTK-80がこわれてしまいマイコンをあきらめようかな!と欲していたところ圓口さんからマイコンクラブの京都支部をつくらうという誘いがあり現在に至っています。

その後本体とキーボードが一体になったPC-8010を買ってゲームと指の運動にのみ使用し唯一、電卓のかわりとして参議院選挙の比例代表区の政党別の当選者数をプリンターに出力するプログラム(プログラムといえないが)をつくりました。

MS-DOSの発売とともに16ビットの時代となり現機種で年一回の年賀状の宛名印刷に使用しているぐらいで、あとは、おもちゃとしてひまつぶしに使っています。

このようにパソコンに興味をもって十数年たっても何もしていない状態ですが、これからもよろしく願います。

プロフィール

No. 5

なか にし ひで ゆき
中 西 秀 行

いつもいつも中年のおじさん達が、たむろしているのは端から見ていると、かなり異様に見えるのかもしれませんが、本人達は頓着しません、大きな子供のようなです。何故かおじさんばかりなのにこう明るく楽しくなるのでしょうかその秘密はよく知りませんが、自由で和やかな雰囲気満ちているからでしょう。皆さんのおかげで今後とも楽しくやらせていただきます、よろしく願います。

1. 最近のパソコンに対する感想又は批判

ソフトウェアが進み(巨大になり)贅沢なハードを際限なく求めています。人間の速度に対する要求も限りがありません、一度早いものに触れてしまうともう後ろへは戻れないのです、そういう意味で最近のハードの低コスト化と高速化は歓迎すべき事なのでしょう。

哀れな中毒者は際限の無い浪費と縁が切れないのです(オー神よ!)

2. 本会への入会年月

本会へは円口さんの呼び掛けによって参加させていただきました、時のたつのは早いもので、たしか「えと」が一回りしてしまったのかな、従って本会発足日と同一だと思っています。

3. 日本語変換の変遷

日常的に使用中の日本語変換の種類と主なソフトATOK7-WX2に変更しつつあります

4. 現在使用中のハード環境(本体 周辺装置 メモリ等詳しく)

エプソン386ノート6MB増設

NEC MATE 9821BS5, 6MB(標準)

HP100LX10MBフラッシュディスク

HP100LX(CPUは80186 重量300gです)について一言。しかしながら私が一番長い時間接するコンピュータになるのかもしれませんが。

5. 今後購入予定のハードとソフト

もう当分買えないが、CD-ROM、ディスプレイ、MOドライブ、拡張メモリ、ハードディスクが欲しいな

6. 本会と部活動への希望と期待

1)誠に勝手ですが遠方なこともあり、例会に参加できないので合宿を増やして頂ければありがたいです。

2)パソコン通信の活用でもっとコミュニケーションが計れると思います。パソコン通信ベテランの方々には手取り足取りアドバイスよろしく願います。

7. 本会の運営で印象に残った事

会報は最近大変立派になって感心しております、編集者のご苦勞には常々感謝いたしておりますありがとうございます。

それから、最近女性の方が入会されたそうで(過去女性の参加は1度だけあったような気がしますが)ご入会おめでとうございます。

新風を吹き込んでいただくよう期待いたしております、よろしく願います。


 次回例会
 

開催日 2月5日(土)

場所 大山崎ふるさとセンター

開催時間 PM.6:30

 シリーズ **マルチメディア** No.1

第一回: MS-Windows版用

通信FAXソフト試用・騒動 (Tomoppy)

新年から、昨年の出来事をタイプするのは、前向きの内容でないが、OA職場の省力化が進む中で文書保管やコピー代金の節約など皆さんの仕事の一助になれば、やはり、前向きな話題と思って書き上げた。

昨年、後半はFAXを利用した文章連絡が多くなり、手書きの文字が下手な私はパソコンに世話になる文章作成をしている。そこで、作成した連絡文書を一旦、プリンタで印刷出力をして、それから、FAX装置にセットして電話機のボタンを押して送信する作業の繰り返しをしていた。皆さんも同様のことをされていると思う。

そこで、何とかプリント出力せずに、パソコンから直接の電話回線へ送り出し、先程の印刷作業を省力化出来ないかと考え、いろいろと周辺装置について調べ始めた。

先ず目に付いたのが、4年前にハル研究所が製品化していたFAX機能付きモデム(単価¥98000)を発売していた。その製品を使ったことが数年間あった。但し、自動ダイヤルや自動発信させるとなると、ワープロ「一太郎」とその上、プリンタはPC-PR201限られ、文章の頭と終わりにモデムを動作させるコマンドの記述が必要であった。

FAX文書を作成する都度、モデムへのコマンドや相手先の電話番号を記述する手間を要した。モデムへのデータ転送は、プリンタケーブルをモデムへ接続して、モデムがプリンタとしてデータを受け取る。アンチ一太郎派になった現在では、再度、使用するなんて拷問に近い。そこで雑誌を見ていたら、同じ会社から、低価格のFAX機能付きモデムが定額の半額で売られていたから、それに飛び付いた。

それを使ってDOS版からテキスト・ファイルであれば、モデムがプリンタとして印刷データをFAXデータへ変換する。但し、プリンタ・ケーブルとRS232Cケーブルをパソコンに接続して置くのである。モデムに付属していたユティリティ・ソフトで電話の接続から送信まですべて自動で実行するし、電話やFAX番号まで記憶するなど、以前のものに比べたら雲泥の差であった。しかも、PC98、J3100、DOS/V対

応のソフトが添付されていた。それでもプリンタ・ケーブルの切り替えが不便であった。

これで一安心と思いきや溝口さんへ説明をしていたら、もっと便利なモデムが発売されていることを知らされた。さらに追い打ちを駆けるように某社の月刊誌に特集が掲載され、その上、MS-WindowsのFAXアプリケーションがいろいろと紹介された。この情報のショックは大きかった。

そこで、各社のモデムを調べているうちに簡易BBS局が開設できて、且つ、FAX送受信機能があり、その上、受信に際して、モデムか、一般回線電話か、FAX受信の3通りを判断して、予めセットして置けば、FAX専用機出力するジャックまで持っているソニーのモデムを見付けた。カタログには、FAXのクラス・レベルが記載されていない。お客相談センターへ質問したら、2以上の回答があり購入を決意した所、上京する機会があり、東京直撃の台風さなかに秋葉原で購入して持ち帰った。その後が、また大変な事態が生じた。

Sonyのモデムの最大の特徴が、最大の欠点になったのだ。それは、一般電話回線を受信した際に、受話器を取り上げるまでのベル回数は、我が家では平均8回以上である。ところが、モデムで予めセットできる時間が最大30秒であるが、その後は、電話機のベル音がモデムのスピーカ音に切り替わる。2階にあるモデムのベル音は優しい音であるから階下まで届かない。

さらに、FAX送信に問題が生じた。パソコン嫌いの方がおりまして、モデムを介して電話機が付属しない我が家のFAX専用機を接続すると、電話番号を発信出来ないことに気がついた。仕方なしに、モデムとFAXの配置は、FAX専用機を経由してモデムを接続する配置とした。余分な話題ですが、我が家の電話機はプッシュホンであるから、FAX受信を手動にしておいて、受信時に受話器を上げてFAX音がすると、その受話器のプッシュホンのキーで切り替えが出来ることから、在宅時にはFAXは手動受信モードとしている。手動受信にしている理由は、FAX専用機のベル音が最大6回までしか、セット出来ないこと、先に説明した我が家の環境の関係から、在宅時は手動にしている。

次にBBS局の設定であるが、何時でも開局は出来る状態にあり、第三者の協力者が得れば一挙に解決できる。でも、周辺にはパソ通の熱心な方が見えないのでお願いが出来ない。

パソコンからのFAX送信であるが、モデム購入時に付属していたソフトは、フリーソフトで使い勝手が判らず、Sony専用のアプリを別途購入した。けれども、MS-Windows用でなくDOS専用であった。やはり、MS-Windowsのホント文字を使った印刷が綺麗だし、文章の中に簡単に貼り付けられる図面や絵もそのまま送信できるから、それを試したくアプリを探すことになった。当時は、外国製のソフトばかりで、やっと1社が日本語版に改訂した時期であった。価格が2-3万円前後であり、Sonyのモデムが使えるソフトを手に入れることにした。試用したら、予想通りにSonyモデムを指定出来ない。

そこで、始めて米国規格のFAXコマンドとSonyモデムが違うことをシャウエア・ソフトの作者から知らされて愕然とした。購入時に確かめたにも拘らず、トンでもない買い物をした。先のパル研究所のモデムの購入といい、Sonyモデムも含めてトンマな買い物の失敗であった。そこでシャウエア・ソフトの作者に相談したら、モデムを借用できたら動くようにすることでお早にお願いをした。そこで、シャウエア・ソフト料金を払う準備をしてモデムを送った。

一方、MS-Windows用の通信ソフトも商業NETへ接続できなくなった。もう、ぐうたらモデムには愛想が尽きたが、また、買い直すには引き取り手が無いだろうし、や無を得ず制作したソフト会社へセット手段を問い合わせたら、一週間したら、Sonyのモデムに対応したDISKが送られてきて、今では満足にアクセスしている。対応した社員によれば、Sonyからモデムを借用して改良したそうだ。その会社は、日本最大手のパソコン・メーカーの子会社である。来春にはバージョンアップ版が出るそうだから、彼らも私からの苦情で新しい情報を手にいれたことになる。

丁度、その頃に溝口さんがオムロンFAXモデムを手に入れたのです。次回は、Sonyモデムに対応した改良アプリの試用と溝口さんの体験試用などで大騒動し、あちこちに波紋を起こした記事を届ける予定。